

農業競争力強化農地整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)

土地改良事業計画書(第1回計画変更)

(区画整理)

県	名	岩	手
地	区	上	西
所	在	奥	州
事	業	岩	手
業	主		県
主	体		

土地改良事業計画書

変更前後

目 次

第1章	目 的 -----	1	第2節	営農計画及び土地利用計画 -----	30
第2章	地域及び地積 -----	2	1.	営農計画の概要 -----	30
第1節	地域 -----	2	2.	土地利用区分 -----	30
第2節	地積 -----	2	3.	作付方式 -----	31
第3章	現 況 -----	3	4.	生産計画 -----	32
第1節	気象及び海象 -----	3	5.	労働改善計画 -----	33
1.	一般気象 -----	3	6.	級地別土地利用区分 -----	34
2.	特殊気象 -----	4	7.	土地配分計画 -----	34
3.	海象 -----	4	第3節	用水計画 -----	35
第2節	土地状況 -----	5	1.	計画基準年 -----	35
1.	地形、土壌及び侵食の程度 -----	5	2.	計画かんがい方式 -----	35
2.	土地分類 -----	7	3.	計画用水系統 -----	35
3.	土地利用の状況 -----	8	4.	計画用水量 -----	37
4.	土地所有の状況 -----	9	5.	水源計画 -----	39
第3節	水利状況 -----	10	第4節	排水計画 -----	42
1.	用水状況 -----	10	1.	計画基準雨量 -----	42
2.	排水状況 -----	16	2.	計画排水方式 -----	42
3.	河川状況 -----	20	3.	計画排水系統 -----	42
第4節	道路概況 -----	21	4.	計画排水量 -----	44
1.	道路概況 -----	21	5.	排水対策 -----	45
最大連続	2. 主要道路一覧表 -----	22	6.	湛水検討 -----	46
第5節	地域農業の概況 -----	24	第5節	道路計画 -----	47
1.	産業別就業人口 -----	24	1.	道路及び索道 -----	47
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数 -----	25	2.	路線配置図 -----	47
3.	動力農機具及び主要家畜頭数 -----	26	第6節	農用地造成計画 -----	49
4.	主要作物作付状況 -----	27	1.	農用地造成計画 -----	49
5.	農業の動向 -----	28	2.	土壌改良 -----	49
第6節	地域環境の概況 -----	28	第7節	洪水調節計画 -----	50
第4章	一般計画 -----	29	1.	計画基準雨量 -----	50
第1節	事業計画の要旨 -----	29	2.	計画洪水量及び調節量 -----	50
1.	要旨 -----	29	3.	貯水池 -----	50
2.	事業別面積 -----	29	4.	洪水調節検討 -----	51
			5.	管理計画 -----	51

変更前後

	第8節	干拓計画	-----	51
	第9節	農用地整備計画	-----	52
		1. 区画整理	-----	52
		2. 暗渠排水	-----	54
		3. 客土	-----	55
		4. 農地保全	-----	55
	第10節	老朽ため池改修計画	-----	56
		1. 洪水吐改修計画	-----	56
		2. 堤体補強計画	-----	56
		3. 取水施設改修計画	-----	56
第5章	主要工事計画		-----	57
	第1節	用水施設	-----	57
		1. 貯水池	-----	57
		2. 頭首工	-----	58
		3. 揚水機	-----	58
		4. 用水路	-----	59
		5. その他かんがい施設	-----	59
	第2節	排水施設	-----	60
		1. 排水水門	-----	60
		2. 排水機	-----	60
		3. 排水路	-----	61
		4. その他排水施設	-----	61
	第3節	道路及び索道	-----	62
		1. 道路	-----	62
		2. 索道	-----	62
	第4節	農用地造成	-----	63
		1. 農用地造成	-----	63
		2. 土壌改良	-----	64
	第5節	洪水調節施設	-----	65
		1. 貯水池	-----	65
		2. 頭首工及び導水路	-----	65
	第6節	干拓施設	-----	65
		1. 堤防	-----	65
		2. 潮止め	-----	65
		3. 付属施設	-----	65
		4. 埋立	-----	65

	第7節	農用地整備施設	-----	66
		1. 区画整理	-----	66
		2. 暗渠排水	-----	67
		3. 客土	-----	67
		4. 除礫	-----	67
		5. 農地保全	-----	68
	第8節	老朽ため池改修施設	-----	69
		1. 貯水池	-----	69
		2. 堤体補強施設	-----	69
第6章	附帯工事計画		-----	70
第7章	工事の着手及び完了の予定時期		-----	70
第8章	環境との調和への配慮		-----	70
第9章	換地計画の概要		-----	71
	第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	-----	71
	第2節	換地区の設定	-----	71
		1. 換地区の名称、所在、面積	-----	71
		2. 換地区を設定する理由	-----	71
	第3節	換地計画樹立の基本方針	-----	72
		1. 従前の土地の地積の基準	-----	72
		2. 用途別予定地積	-----	73
		3. 農用地集団化の方針	-----	74
		4. 非農用地の換地方法	-----	74
	第4節	土地の評価及び清算の方法	-----	75
		1. 評価の方法	-----	75
		2. 清算の方法	-----	75
	第5節	換地計画樹立の年度計画	-----	75
	第6節	換地処分 of 時期に関する特則	-----	75
第10章	事業費の総額及び内訳		-----	76
第11章	効用		-----	76
第12章	関連する事業		-----	77
第13章	現況・計画図面		-----	78
		1. 位置図	-----	78
		2. 現況計画平面図	-----	78
		3. 土地利用計画図	-----	78
		4. 主要構造図	-----	78

第 1 章 目 的

上段：変更後

下段：変更前

〃

本地区は、奥州市江刺広瀬に位置し、一級河川広瀬川沿いの段丘にある水田地帯である。

営農形態は、水稻を中心としているが、飼料作物の作付も行っている。

農地状況は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業広瀬地区の一部、昭和30～40年代の非補助土地改良事業猿ヶ石地区の一部及び昭和40年代の構造改善事業中内地区の一部で整備されているものの、10a～20aと小区画である。

また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしているほか、農道の幅員もほとんどが2 m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を推進し、農業経営の安定化を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

上段：変更後
下段：変更前

(第1表)

事業名	地域
〃 区画整理	〃 岩手県奥州市江刺広瀬 地内

第2節 地積

(令和6年3月現在)
(令和2年12月現在) (第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
〃 区画整理	〃		26.9	0.2	0.7	〃	6.5	34.3	
	奥州市		29.7	0.4	0.8	0.0	7.1	38.0	
	計		26.9	0.2	0.7	〃	6.5	34.3	
			29.7	0.4	0.8	0.0	7.1	38.0	
	計								
合 計			26.9	0.2	0.7	〃	6.5	34.3	
			29.7	0.4	0.8	0.0	7.1	38.0	

第3章 現 況

上段：変更後

下段：変更前

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版) (第3表-1)

観測所名	江刺地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H20年～H29年	5月～ 8月	9月～ 4月		
平均気温(℃)		21.0	6.7	11.4	
降水量	平均(mm)	472.3	708.3	1,180.6	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	43	89	132	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		月 日 ～ 月 日 日間			
無霜期間		4月28日 ～ 11月1日 181日間			
最多風向			最大風速	16.2 m/s	最多風向発生時期 年 月 日
	NW	(風 向)	(WNV)		最大風速発生年月日 H27.2.27

※最大風量のデータは気象庁ホームページによる。

上段：変更後
下段：変更前

2. 特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版）
（第3表-2）

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	
江刺地域気象観測所																
観測期間																
〃 M41年～H29年	量	日	率	量	日	率	量	日	率	量	日	率	量	日	率	
最大日雨量(mm) S44年～H29年	216.0	H13.8.1	-	158.0	S62.8.17	1/132	132.0	H14.7.11	1/42	112.0	H23.9.21	1/16	104.0	H14.8.11	1/11	
最大時間雨量(mm) S44年～H29年	48.0	S52.7.18	1/80	46.0	S48.6.14	1/57	38.5	H24.9.19	1/17	37.0	S44.9.7	1/13	36.0	H13.8.1	1/11	
最大4時間雨量(mm) S44年～H29年	114.0	H13.8.1	1/280	113.0	H13.8.1	1/261	95.0	H13.8.1	1/69	74.0	S52.7.18	1/14	73.0	H14.7.11	1/13	
最大3日連続雨量(mm) S44年～H29年	230.0	H13.8.2	1/120	229.0	H13.8.1	1/117	223.0	H13.8.3	1/98	197.0	H14.7.11	1/45	184.0	H10.8.31	1/30	
最大連続旱天日数(日) S44年～H29年	38	H6.7.12	1/953	38	S59.7.20	1/953	30	H15.5.1	1/28	28	H23.7.2	1/14	27	H16.7.21	1/10	

3. 海 象

〃
該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

上段：変更後

下段：変更前

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考		
		傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高		最低	
			8°～10°	10°～15°	8°～15°															
区画整理	面積(ha)		9.8 10.2	2.5 2.6	12.4 14.1	2.2 2.8	26.9 29.7	0.2 0.4								0.2 0.4	// 136	// 82		
	比率(%)		36.4 34.3	9.3 8.8	46.1 47.5	8.2 9.4	// 100	// 100								// 100				
合計	面積(ha)		9.8 10.2	2.5 2.6	12.4 14.1	2.2 2.8	26.9 29.7	0.2 0.4								0.2 0.4				
	比率(%)		36.4 34.3	9.3 8.8	46.1 47.5	8.2 9.4	// 100	// 100								// 100				

上段：変更後
下段：変更前

2. 土地分類

”
該当なし

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~ (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	30° 以上 (ha)		
計												

”
該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

上段：変更後
下段：変更前

3. 土地利用の状況

(令和6年3月現在)
(令和2年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区 画 整 理	奥州市	26.9 29.7	0.2 0.4						// 0.0		0.7 0.8	6.5 7.1	34.3 38.0	
合 計		26.9 29.7	0.2 0.4						// 0.0		0.7 0.8	6.5 7.1	34.3 38.0	

4. 土地所有の状況

上段：変更後
下段：変更前

(令和6年3月現在)
(令和2年12月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有 (田, 畑, 山林, 原野)	市有	県有	国有			計	備 考
区 画 整 理	面 積(ha)	30.5 33.9	3.8 4.1	// 0.0	// -			34.3 38.0	
	関 係 戸 数	// 46						// 46	
	筆 数(筆)	412 464	100 90	// 8	// -			520 562	
	権 利 関 係 備 考								
	(受益者数)	// 37						// 37	
合	面 積(ha)	30.5 33.9	3.8 4.1	// 0.0	// -			34.3 38.0	
	関 係 戸 数	// 46						// 46	
	筆 数(筆)	412 464	100 90	// 8	// -			512 562	
	権 利 関 係 備 考								
	(受益者数)	// 37						// 37	
計	面 積(ha)	30.5 33.9	3.8 4.1	// 0.0	// -			34.3 38.0	
	関 係 戸 数	// 46						// 46	
	筆 数(筆)	412 464	100 90	// 8	// -			512 562	
	権 利 関 係 備 考								
	(受益者数)	// 37						// 37	

第3節 水利状況

上段：変更後
下段：変更前

1. 用水状況

本地区の用水は、田瀬ダムを水源とする国営猿ヶ石用水水利事業で整備された東部幹線用水路を経て県営農業水利システム保全整備事業で整備された松長嶺地区用水路からかんがいする系統、一級河川広瀬川を水源とし、同じく国営猿ヶ石用水水利事業で整備された北部幹線用水路を経由して注水された補水とともに西風頭首工よりかんがいする系統のほか、地区に隣接するため池よりかんがいしている。

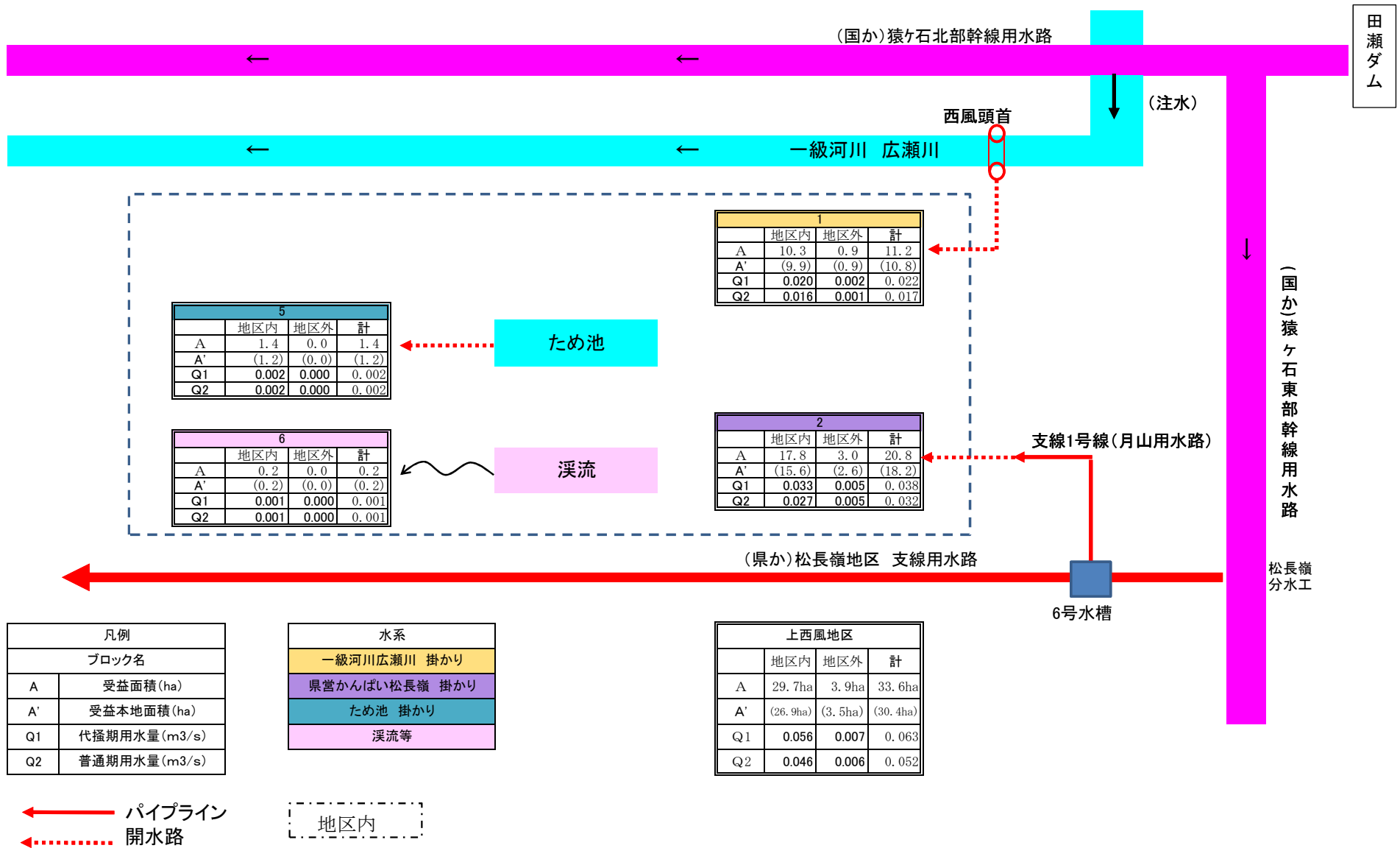
地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているが、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 用水系統

次頁参照

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【経営体育成型】） 上西風地区 現況用水系統図(輪換田)

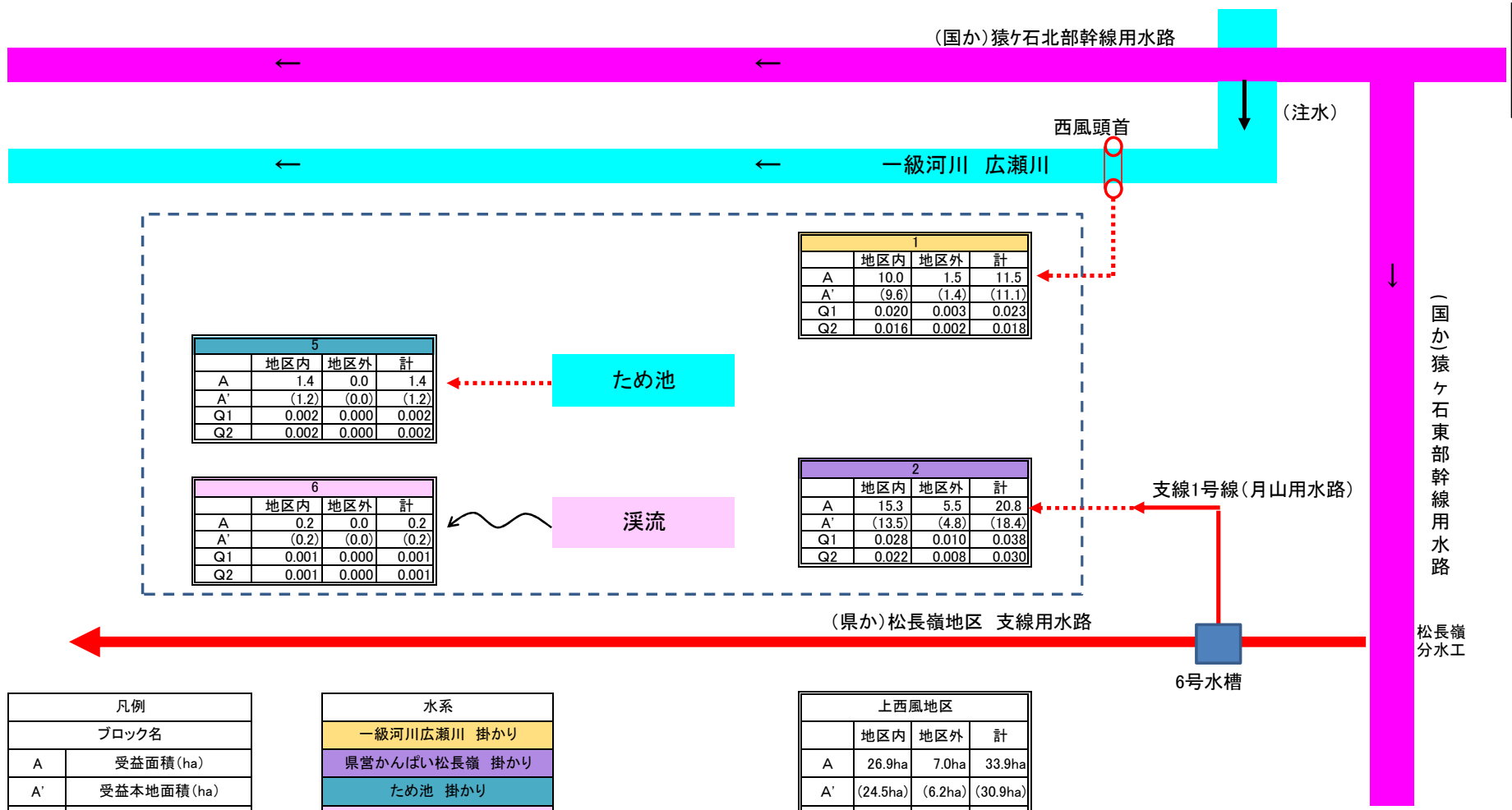
変更前



農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【経営体育成型】） 上西風地区 現況用水系統図(輪換田)

変更後

田瀬ダム



凡例	
ブロック名	
A	受益面積 (ha)
A'	受益本地面積 (ha)
Q1	代掻期用水量 (m3/s)
Q2	普通期用水量 (m3/s)

水系	
一級河川広瀬川	掛かり
県営かんばい松長嶺	掛かり
ため池	掛かり
溪流等	

← パイプライン
 ← 開水路

地区内

(2) 用水施設

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
区 画 整 理	貯水池					//	//	//	//	//	//	//	//	//	//
	井堰					1	1.4	1	1.4	-	-	-	-	0.002	
						//	32.3	//	32.3	//	0.023	//	//	0.023	水利使用許可申請書西風頭首工(地区外0.003m ³ /s含む)
	井堰					2	32.0	2	32.0	1	0.022	-	-	0.022	水利使用許可申請書西風頭首工(地区外0.002m ³ /s含む)
										//	//			//	県か松長嶺地区水利権(地区外0.010m ³ /s含む)
	自然取水口									-	-	-	-		
	揚水機									-	-	-	-		
その他					//	//	//	//					//		
計					1	0.2	1	0.2					0.001		
合計	計					//	33.9	//	33.9	//	0.061	//	//	0.064	地区外0.013m ³ /s含む
						4	33.6	4	33.6	1	0.060	-	-	0.063	地区外0.007m ³ /s含む
合計	計					4	33.6	4	33.6	1	0.060	-	-	0.063	

※箇所は、取水直上流の幹線用水路の系統数を示す。

上段：変更後
下段：変更前

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
区 画 整 理	貯 水 池							
	井 堰							
	自然取水口							
	揚 水 機							
	用 水 路	〃 全体	33.9 33.6	〃 土水路	6.0 L=6.5km	〃 S34～49年	〃 区画整理	地区外7.0ha含む 地区外3.9ha含む
	そ の 他							
	計		33.9 33.6					
合 計		33.9 33.6						

(3) 用水に関する被害状況

上段：変更後
下段：変更前

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)	平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)			
	計									
合計										

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

〃
該当なし

上段：変更後
下段：変更前

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合計												

上段：変更後
下段：変更前

2. 排水状況

本地区の排水は、地区内の小排水路から一級河川広瀬川、普通河川鴨沢川及び普通河川大松川へ排水される。

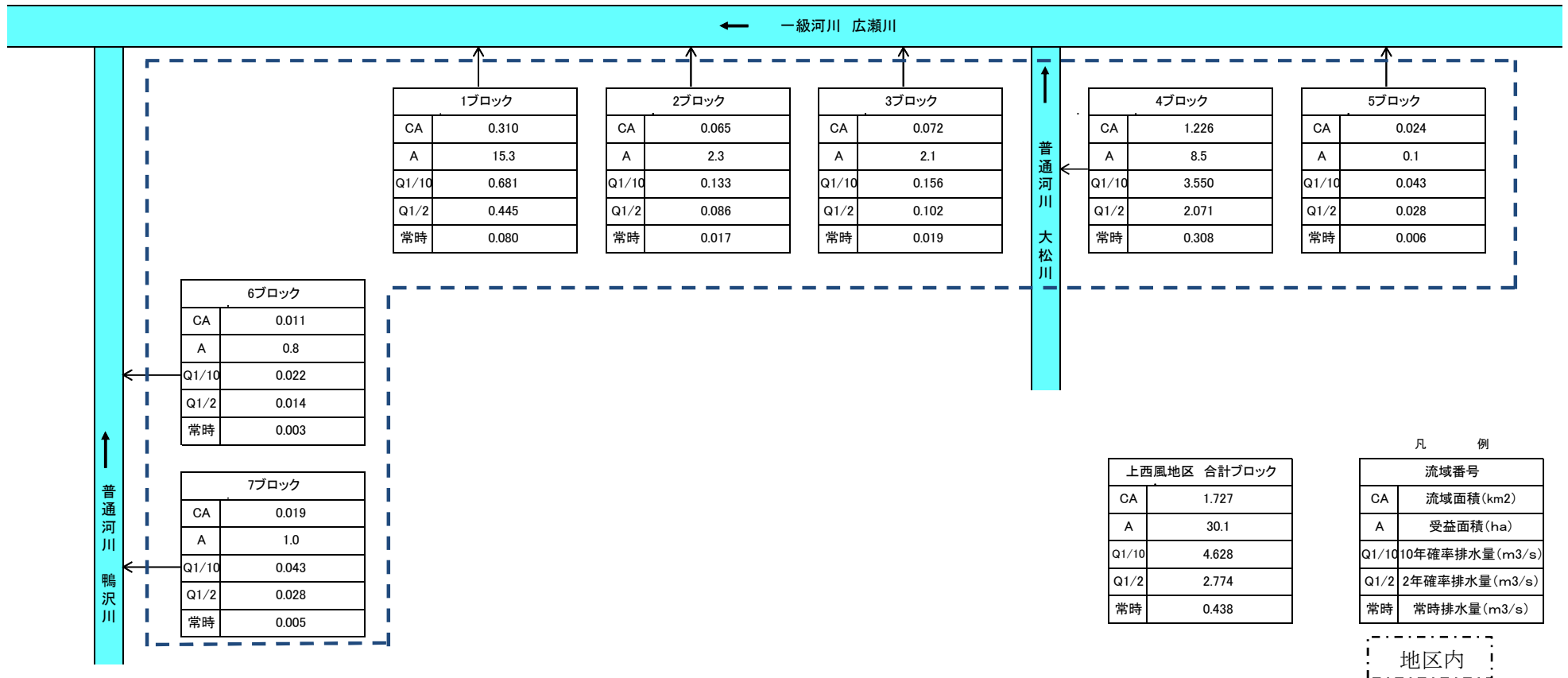
地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。。

(1) 排水系統

次頁参照

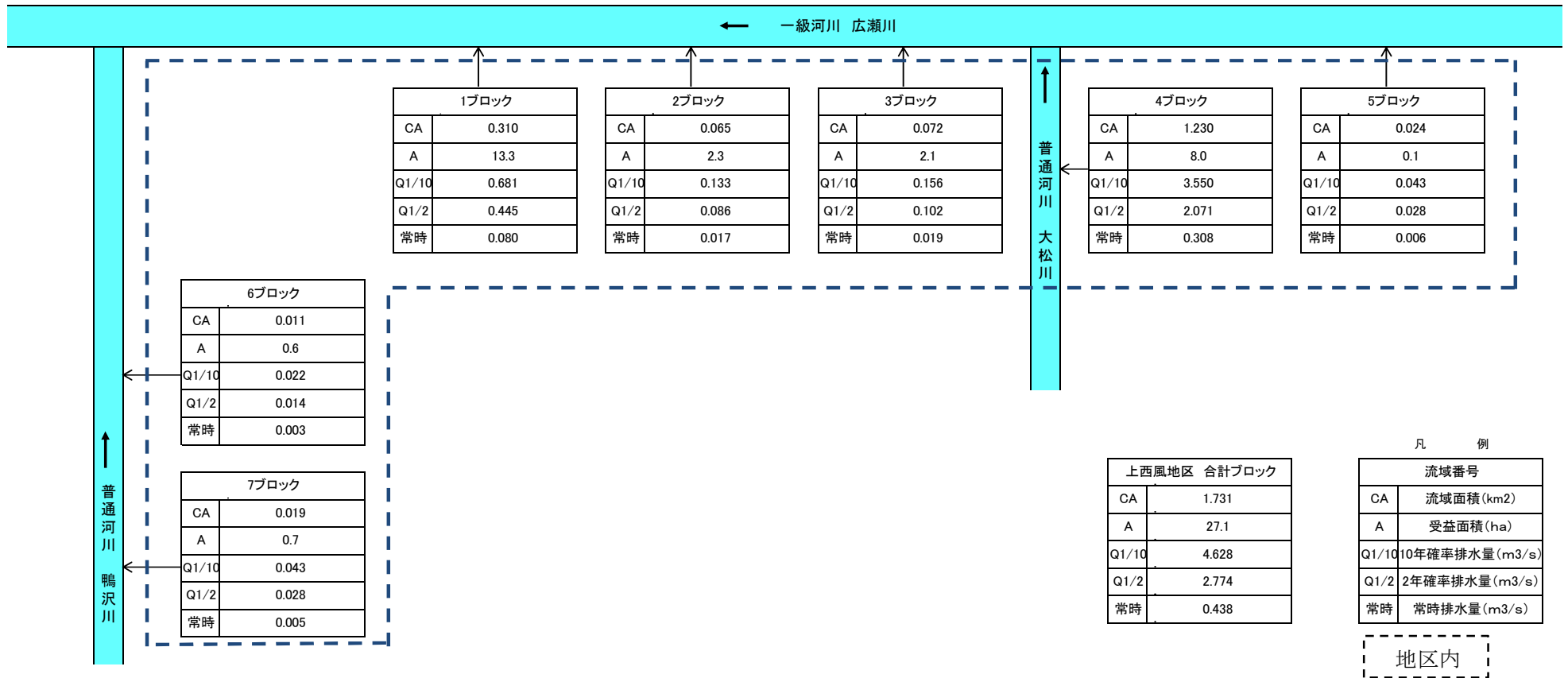
上西風地区 現況排水系統模式図

変更前



上西風地区 現況排水系統模式図

変更後



(2) 排水施設

上段：変更後

下段：変更前

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500ha以上		500～100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					箇所
区画整理	自然	排水路			1	123.0	6	50.1	7	173.1		4.628	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計				1	123.0	6	50.1	7	173.1		4.628	
合計				1	123.0	6	50.1	7	173.1		4.628		

※箇所は、排水システムの系統数を示す。

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
水門									
機械	排水機								
	水門及び排水機								
	排水路及び排水機								
計			27.1 30.1						
合計			27.1 30.1						

(3) 排水に関する被害状況

上段：変更後
下段：変更前

//
該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量 (t)	平均維持 管理費 (千円)	備考	
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他					
								乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														
				平均													
				基準年													
				平均													
				基準年													
				平均													
				基準年													
	計			平均													
				基準年													
	合計			平均													

3. 河川状況

上段：変更後
下段：変更前

(1) 河川の現況

//
該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

//
該当なし

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

上段：変更後

下段：変更前

第4節 道路概況

1. 道路概況

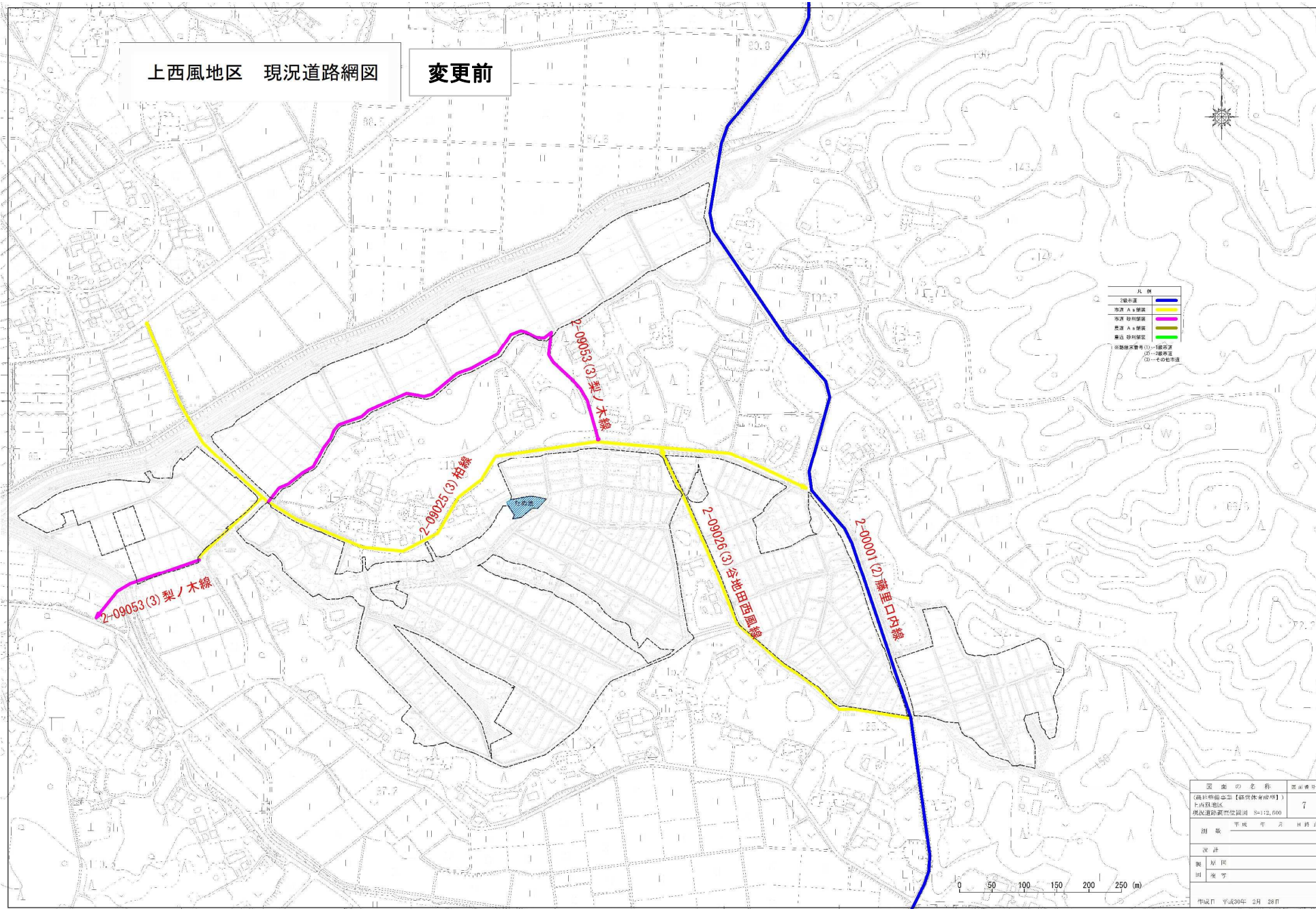
本地区の東側には2級市道藤里口内線が南北に走り、地区中央に[”]その他市道柏線が東西に走っている。この2路線の道路にその他市道梨ノ木線、その他市道谷地田西風線、耕作道が接続されている。

ほ場内にある耕作道は、砂利道であり、幅員もほとんどが2m程度と狭小で、大型農業機械の通行や農作物の円滑な搬出に支障をきたしている状況である。

上西風地区 現況道路網図

変更前

- 凡例
- 支線街道
 - 計画 A 路線
 - 計画 B 路線
 - 計画 A+B 路線
 - 計画 A 路線
 - 計画 B 路線
- 河川表示符号 (1) 一般河川
(2) 二級河川
(3) 一級河川

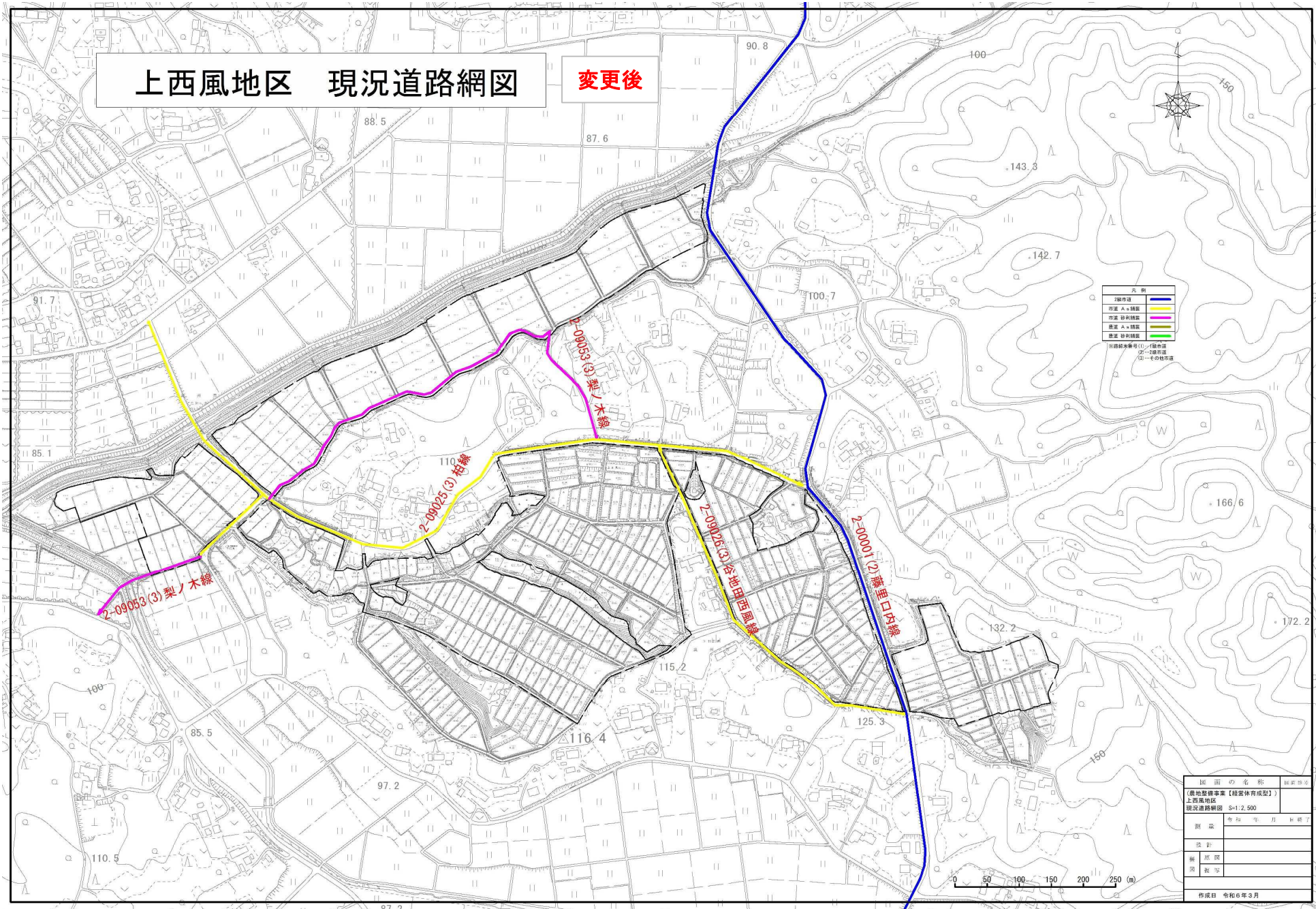


図面の名称	図面番号
上西風地区【新保体育館跡】 上西風地区 現況道路調査図紙図	7
測 量	平成 年 月 日 終了
測 算	
製 図 所	
測 定 者	
作成日	平成 年 月 日

上西風地区 現況道路網図

変更後

- 凡例
- 道路線
 - 指定 A 4 種線
 - 指定 A 4 種線
 - 指定 A 4 種線
 - 指定 A 4 種線
- ※道路番号(1)一般市道
(2)一般市道
(3)一般市道



図面の名称	図面番号
(農地整備事業【経営体育成型】) 上西風地区 現況道路網図 S=1:2,500	
期 日	令和 6 年 3 月 31 日
設計	
監 理	
調 査	
作成日	令和 6 年 3 月

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

上段：変更後

下段：変更前

(岩手県統計年鑑(R2国勢調査))

(岩手県統計年鑑(H27国勢調査))

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス熱 供給水道業	運 輸 通信業	卸売小売業 飲食店	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
〃 奥州市	58,252 61,595	7,328 8,667	152 146	4 3	12 29	4,979 5,438	11,969 12,111	229 261	2,817 2,872	7,577 8,456	851 949	597 576	9,602 10,363	1,663 1,704	10,472 10,020	
計	58,252 61,595	7,328 8,667	152 146	4 3	12 29	4,979 5,438	11,969 12,111	229 261	2,817 2,872	7,577 8,456	851 949	597 576	9,602 10,363	1,663 1,704	10,472 10,020	
比率(%)	〃 100%	13% 14%	〃 0%	〃 0%	〃 0%	〃 9%	21% 20%	〃 0%	〃 5%	〃 13%	1% 2%	〃 1%	16% 17%	〃 3%	18% 16%	

上段：変更後

下段：変更前

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2020農林業センサス)

(2015農林業センサス)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)										一戸当たり 平均農用地面積 (ha)						耕地の 分散状況		専兼業別 農家数 (戸)			備考
		経営耕地なし	～	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	専業	兼業		
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	以上											第一種	第二種	
" 奥州市	8,200 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,127 2,398	1.64 1.53	" 0.18	" 0.03	1.85 1.74	" -	1.85 1.74	" -	" -	- 1,851	- 807	- 5,133	
計	8,200 10,189	- 18	- 1,019	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 264	- 110	2,127 2,398	1.64 1.53	" 0.18	" 0.03	1.85 1.74	" -	1.85 1.74	" -	" -	- 1,851	- 807	- 5,133	
比率	" 100%	- 0%	- 10%	- 22%	- 15%	- 10%	- 10%	- 5%	- 3%	- 1%	26% 24%	89% 88%	" 10%	1% 2%	" 100%	" 0%	" 100%	" -	" -	- 24%	- 10%	- 66%	

上段：変更後

下段：変更前

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020農林業センサス)

(2015農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びトラクター		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
〃 奥州市	- 8,132	- 6,579	〃 -	〃 -	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	X 9,660	4 3	
計	- 8,132	- 6,579	〃 -	〃 -	- 5,623	- 5,385	- 3,256	- 3,068	735 943	25 35	15,854 12,672	683 946	X 9,660	4 3	
100戸当たり 数量 (台、頭)	- 80		〃 -		- 55		- 32		〃 9		193 124		- 95		農家戸数 8,200戸 10,189戸
利用戸数 割合 (%)	- 65%		〃 -		- 53%		- 30%		〃 0%		8% 9%		〃 0%		

4. 主要作物作付状況

上段：変更後
下段：変更前

(2020農林業センサス)
(2015農林業センサス)

(第7表-4)

市町村名		奥州市		計		平均		作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)		19,800 19,900		19,800 19,900		19,800 19,900			
区分		作付面積 (ha)	単位面 積 当たり 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積 当たり 収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面 積 当たり 収量 (kg/10a)	作付率 (%)	備考
作物名									
田	表作	10,285	〃			10,285	〃	68	〃 単収 (1000本/10a)
	水 稲	10,600	558			10,600	558	78	
	裏作							0	
	小麦 等								
小 計		10,285 10,600				10,285 10,600		68 78	
普通畑	春	麦 類(小麦他)	154 232	195 182		154 232	195 182	1 2	
		豆 類(大豆他)	1,384 1,074	141 184		1,384 1,074	141 184	10 8	
	夏	野菜類(なす他)	200 198	4,867 4,927		200 198	4,867 4,927	〃 1	
		花き類・花木(りんどう他)	71 51	2,190 2,221		71 51	2,190 2,221	〃 0	
	畑	牧草	651 619	2,650 3,527		651 619	2,650 3,527	4 5	
		その他	2,028 536			2,028 536		14 4	
	計		4,488 2,710				4,488 2,710		
	樹園地	果樹類 (りんご他)	277 255				277 255		〃 2
			277 255				277 255		〃 2
		小 計	277 255				277 255		〃 2
計		15,050 13,565				15,050 13,565		〃 100	
市町村別 延べ作付率(%)		76 68				76 68			

5. 農業の動向

(2020農林業センサス)
(2015農林業センサス)

上段：変更後
下段：変更前

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			主 要 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地 域 指定等	備 考
		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)		B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	作物名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	家畜名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)	農機具名	B (H27) (H22)	A (R2) (H27)			
変化の 状 況 (C年を100 とする指数)	総農家数	87 90	70 79	耕 地	96 91	85 80	水 稻	100 91	100 98	乳用牛	56 150	43 84	耕耘機 トラクター	88 88	- 79	農 振 // S45.3 過 疎 // H18.2 山 振 // S44.12 特農指定 // H5.9	A:令和2年 (2020) A:平成27年 (2015) B:平成27年 (2015) B:平成22年 (2010) C:平成22年 (2010) C:平成17年 (2005)	
	専業農家数	99 118	- 117	田	99 90	87 79	野菜類	77 92	78 74	肉用牛	66 102	83 78	動力田植機	83 82	- 70			
	第1種兼業 農家数	58 85	- 50	畑	75 82	68 62	麦 類	116 67	77 171	豚	105 65	- 287	コンバイン	96 81	- 80			
	第2種兼業 農家数	82 80	- 66	樹園地	90 99	68 96	豆 類	96 132	124 283	採卵鶏	198 39	96 882	動力防除機	// -	// -			
	農 業 従事者数	75 85	54 64	草地	76 148	68 120												
変化の 理 由	総農家数及び農業従事者が減少している。 農地集積や担い手対策の推進、認定農業者や法人組織の育成の取り組み成果が出始めている。			// 農地転用が進み、農用地の減少が進んでいる			水稻は、耕地面積が横ばいである。また、転作農地の有効利用は大豆が増加している。 農地集積や法人組織の増加に伴い、水田畑利用が促進され土地利用型作物が増加する一方で、野菜類等の園芸作物が減少している。			// 乳用牛及び肉用牛は減少しているが、豚、採卵鶏は増加している。			- 農作業の省力化を図るため、大型機械の導入が進んでいることから現有の農業機械は減少傾向にある。					

第6節 地域環境の概況

//
本地区は田園風景と自然環境が調和し、地域住民に潤いと安らぎの場を提供している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少動植物の生育・生息が確認されている。

第4章 一 般 計 画

上段：変更後

下段：変更前

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は、昭和30年代～40年代に耕地整備されているものの、区画規模は10a～20a程度と小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが2m程度と狭小で、大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、^{26.1}A=29.4haに対し区画整理を行い標準区画30a～80aのほ場を整備する。また、農道は支線道路L=6.4kmを標準幅員5～3mの^{5.2}敷砂利舗装に、用水路はL=5.7kmを^{5.3}パイプライン及びベンチフリュームにて整備する。排水路はL=5.5kmを^{5.6}鉄筋コンクリート二次製品にて整備するとともに、^{26.1}暗渠排水A=29.4haを併せ行い乾田化を図る。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進して、農業経営の安定化を図るものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	区画整理												計 (ha)	備 考						
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	(ha)	小 計 (ha)								
区画整理	^{26.1} 29.4	" -			^{8.2} 8.6	^{34.3} 38.0													^{34.3} 38.0	
計	^{26.1} 29.4	" -			^{8.2} 8.6	^{34.3} 38.0													^{34.3} 38.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 営農計画の概要

農業経営の安定化を図るため、担い手に農地の利用集積・集約化を進め、主食用米を中心としつつ、土地利用型の転作作物を作付する。また、農家所得の向上に向け、園芸作物の作付拡大を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	26.9 29.7	0.2 0.4	// -	// -	// -	// -	27.1 30.1	0.7 0.8	// 0.0	6.5 7.1	34.3 38.0	
	計画	26.1 29.4	// -	// -	// -	// -	// -	26.1 29.4	// -	// -	8.2 8.6	34.3 38.0	その他：道路、水路、雑種地
計	現況	26.9 29.7	0.2 0.4	// -	// -	// -	// -	27.1 30.1	0.7 0.8	// 0.0	6.5 7.1	34.3 38.0	
	計画	26.1 29.4	// -	// -	// -	// -	// -	26.1 29.4	// -	// -	8.2 8.6	34.3 38.0	

4. 生産計画

上段：変更後
下段：変更前

90.7% ”
(現況本地率 水田:90.6% 畑:92.9%)

85.0 85.7
(計画本地率 水田:90.0% 畑:92.9%)

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考			
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加				
区 画 整 理	水 田	” 表作	水稲	17.1 18.8	13.4 16.0	△ 3.7 △ 2.8	69.5 68.9	60.4 60.4	554 550	598 594	44 44	94.7 103.4	80.1 95.1	△ 14.6 △ 8.3	△ 20.5 △ 15.4	5.9 7.1			
			大豆	” -	8.5 10.2	8.5 10.2		38.2 38.5	38.2 38.5	148 162	244 267	96 105		20.7 27.2	20.7 27.2	12.6 27.2			
			ピーマン	” -	” 0.3	0.3 0.3		1.4 1.1	1.4 1.1	4,812 4,801	8,421 8,402	3,609 3,601		25.3 25.2	25.3 25.2	25.3 25.2			
			牧草	2.5 2.8	” -	△ 2.5 △ 2.8	10.2 10.3			1,200 1,500	1,752 2,190	552 690	30.0 42.0		△ 30.0 △ 42.0	△ 43.8 △ 42.0			
			自己保全管理	4.8 5.3	” -	△ 4.8 △ 5.3	19.5 19.3												
		小 計	24.4 26.9	22.2 26.5	△ 2.2 △ 0.4	99.2 98.5	” 100.0												
	普 通 畑	” 春夏秋作	自己保全管理	0.2 0.4	” -	△ 0.2 △ 0.4	0.8 1.5												
		小 計	0.2 0.4	” -	△ 0.2 △ 0.4	0.8 1.5													
		合 計	24.6 27.3	22.2 26.5	△ 2.4 △ 0.8	” 100.0	” 100.0												

※作付面積は本地面積で整理

5. 労働改善計画

上段：変更後
下段：変更前

〃
(計画本地率 水田:90.0%) (第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考	
				区 分	現 況	計 画	増 減		
区 画 整 理	〃 水田	〃 水稲 (個別)	1.7	人 力	〃	〃	〃	〃 小区画 → 中区画 湿田(10a) → 乾田2ha規模	
			2.0		41.4	25.8	△ 15.6		
		〃 水稲 (担い手)	7.6 9.0	人 力	〃	5.8	△ 35.6	〃 小区画 → 中区画 湿田(10a) → 乾田15ha規模	
					44.6	6.0	△ 35.4		
		〃 水稲 (担い手)	4.1 5.0	人 力	〃	5.1	△ 36.3	〃 小区画 → 大区画 湿田(10a) → 乾田15ha規模	
					44.6	5.6	△ 39.0		
		〃 大豆 (担い手)	8.5 10.2	人 力	〃	4.2	△ 8.3	〃 小区画 → 大区画 湿田(10a) → 乾田	
					28.9	9.8	△ 19.1		
		〃 ピーマン (担い手)	〃 0.3	人 力	469.9	467.6	△ 2.3	〃 小区画 → 大区画 湿田(10a) → 乾田	
					327.7	326.0	△ 1.7		
				機 械 力	19.8	18.6	△ 1.2		
					16.0	14.9	△ 1.1		
	計		22.2 26.5						
	合計		22.2 26.5						

6. 級地別土地利用区分

上段：変更後
下段：変更前

”
該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
	その他											
	計											

7. 土地配分計画

”
該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑			計		計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 計画基準年

//
昭和60年

//
（北上川水系猿ヶ石川等における水利使用（変更）に関する河川法第23条に係る同法第95条協議図書より）

2. 計画かんがい方式

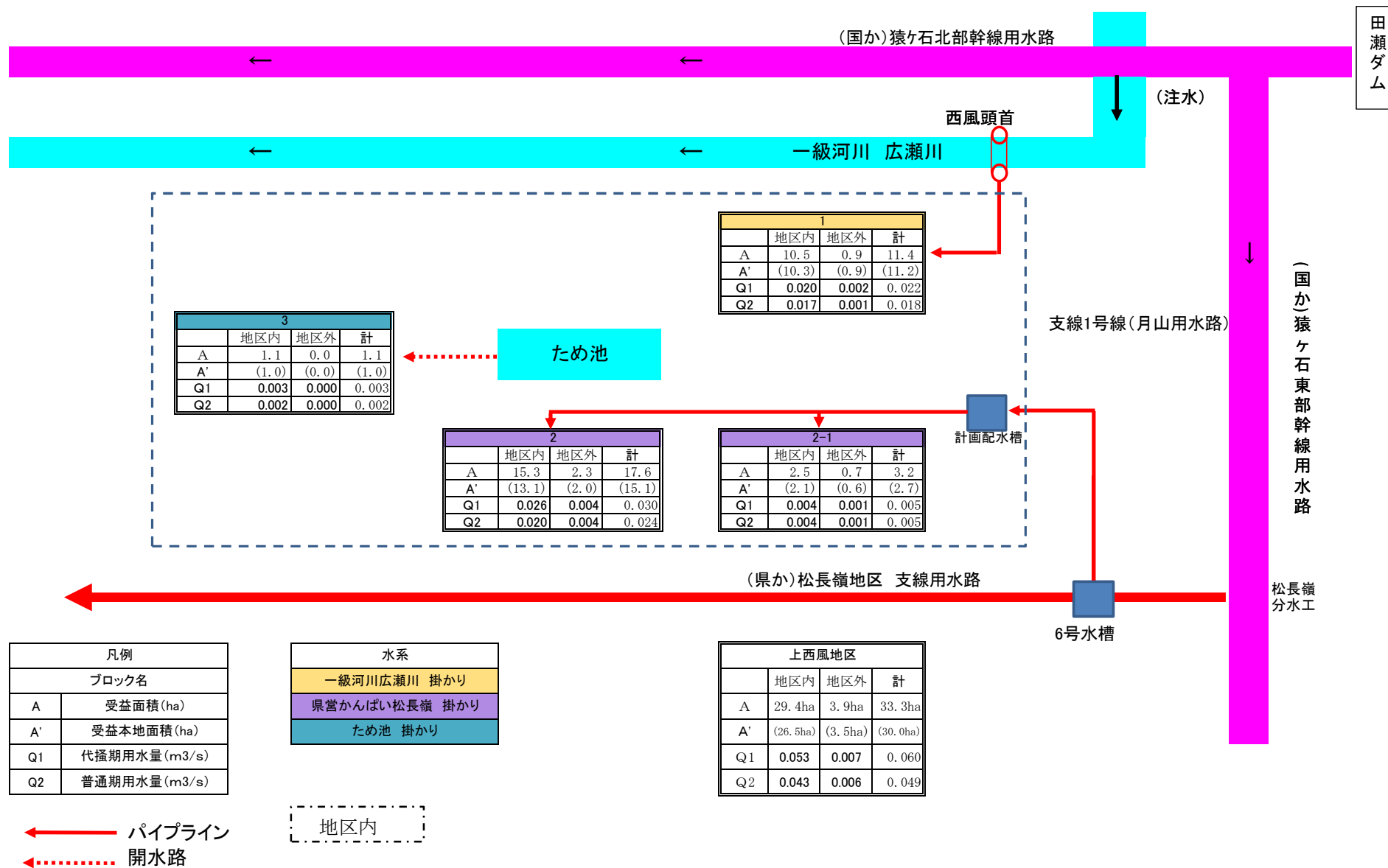
// //
水田（水稲） 湛水かんがい方式

//
かんがい期間 4月26日～9月5日 133日間

//
（代掻き期間4月26日～5月10日 15日間）

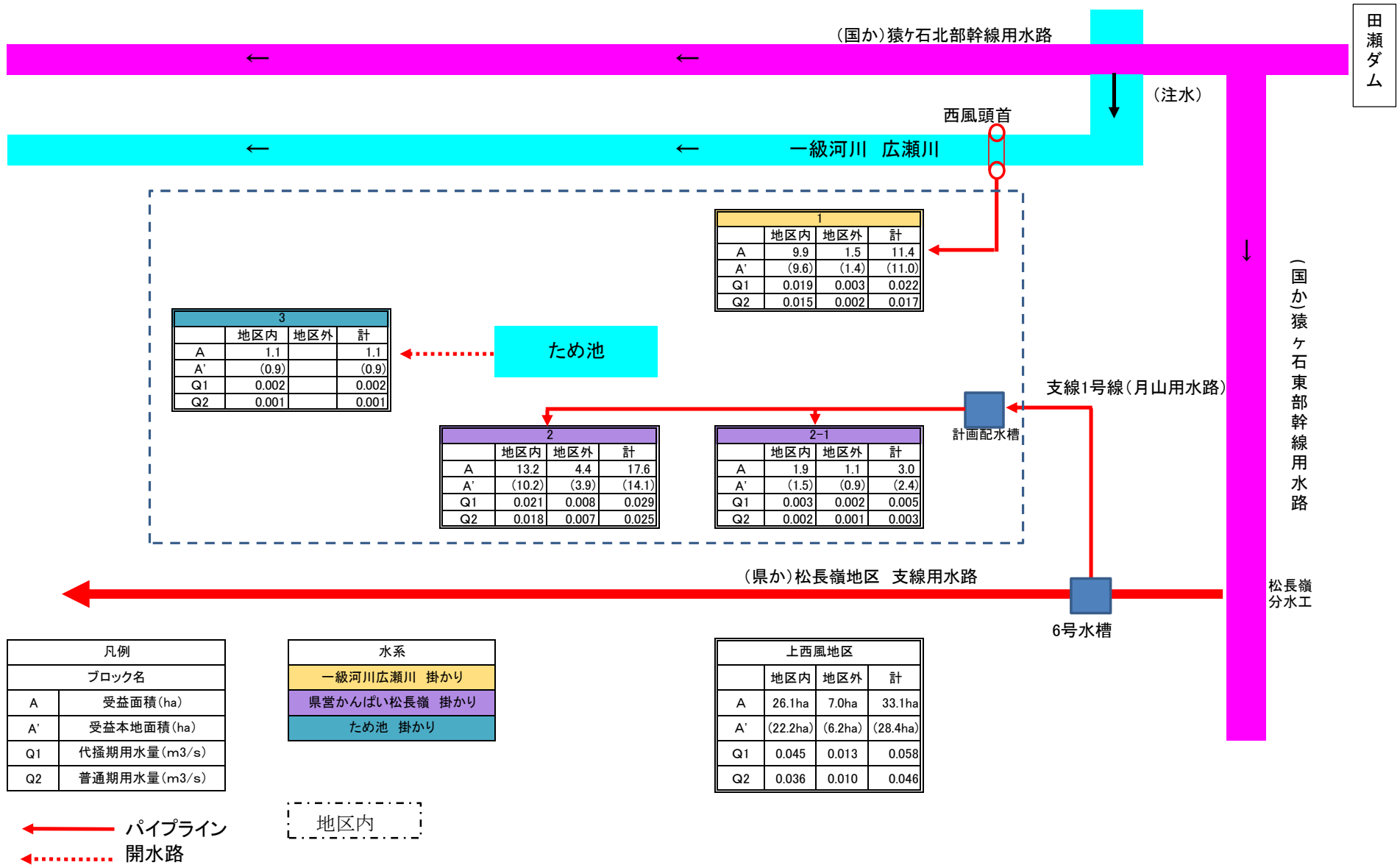
3. 計画用水系統

//
次頁参照



農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業【経営体育成型】） 上西風地区 計画用水系統図(輪換田)

変更後



4. 計画用水量

上段：変更後
下段：変更前

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑利用戻り水田かんがい			畑地かんがい			その他		消費水量 (m3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考		
		事業名			普通期	代かき期	面	普通期	代かき期	面	一平均 日当 たり 計水 画深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面	計平均 単 位 用 水 画 量 (mm/日)	面			平	最			
		区 画 整 理	地 区 外	計	計単 画 位 用 平 水 均 量 (mm/日)	計単 画 位 代 用 か 水 き 量 (mm)	積 (ha)	計単 画 位 用 平 水 均 量 (mm/日)	計単 画 位 代 用 か 水 き 量 (mm)	積 (ha)			積 (ha)								均 (m3/s)	大 (m3/s)
〃 一級河川 広瀬川	農業用水	9.9 10.5	1.5 0.9	〃 11.4	〃 15	〃 110	〃 3.0	〃 17	〃 129	〃 4.2	〃 4	〃 6	〃 4.2		0.019 0.020	〃 10、15	0.017 0.018	〃 0.022				
〃 県営かんがい 松長嶺	農業用水	15.1 17.8	5.5 3.0	20.6 20.8	〃 15	〃 110	〃 5.6	〃 17	〃 129	7.5 7.6	〃 4	〃 6	7.5 7.6		0.024 0.030	〃 10、15	0.028 0.029	0.034 0.035				
〃 ため池	農業用水	〃 1.1		〃 1.1	〃 15	〃 110	〃 0.3	〃 17	〃 129	〃 0.4	〃 4	〃 6	〃 0.4		0.002 0.003	〃 15	0.001 0.002	0.002 0.003				
計		26.1 29.4	7.0 3.9	33.1 33.3			〃 8.9			12.1 12.2			12.1 12.2		0.045 0.053		0.046 0.049	0.058 0.060				

※水田畑地地用の面積は、輪換1年目のみ。(水利権資料より) 稲転率36.5%

(2) 営農飲雑用水

上段：変更後

下段：変更前

//
該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当たり給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	(ℓ/日)	(ℓ/日)			

5. 水源計画

上段：変更後

下段：変更前

(1) 水利用計画

有効雨量 水田(水稲)：5mm/日～80mm/日の80%
 (畑利用)：－
 TRAM 水田(畑利用)：－mm
 間断日数 水田(畑利用)：－日
 かんがい効率 水田(水稲)：90% (パイプライン)、85% (開水路)
 水田(畑利用)：－%

(第10表-2)

項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
区分	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率：α
区画整理	180		180	202	〃	202	180						〃 0.10, 0.15
	190		190	212	田瀬ダム	212	190						
	293		293	330	〃	330	293					〃	
	304		304	341	一級河川広瀬川	341	304					西風頭首工	
	〃		〃	〃	〃	〃	〃						
	11		11	13	ため池	13	11						
計	484 505		484 505	545 566		545 566	484 505						

(2) 用水対策

上段：変更後
下段：変更前

(ア) 貯水池

//
該当なし

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名								
			地区内	地区外	計						

(イ) 井堰及び自然取入口

//
該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		湯水量 (m ³ /s)	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理	地区外	計				

(ウ) 揚水機

//
該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		区画整理		計							

(エ) 用水路

上段：変更後
下段：変更前

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	区画整理	(地区外)	計				
用水路工	26.1	7.0	33.1	0.034	5,273	〃 VU75~VU450 BF300	
	29.4	3.9	33.3	0.035	5,697		
計	26.1 29.4	7.0 3.9	33.1 33.3		5,273 5,697		

(オ) その他の水源施設

〃
該当なし

(3) 水質水温

〃
該当なし

上段：変更後

下段：変更前

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版 江刺地域気象観測所）

最大 2 4 時間雨量	116.0 mm (1/10年)	77.4 mm (1/2年)
最大 4 時間雨量	68.9 mm (1/10年)	44.8 mm (1/2年)
最大 1 時間雨量	35.1 mm (1/10年)	22.7 mm (1/2年)

2. 計画排水方式

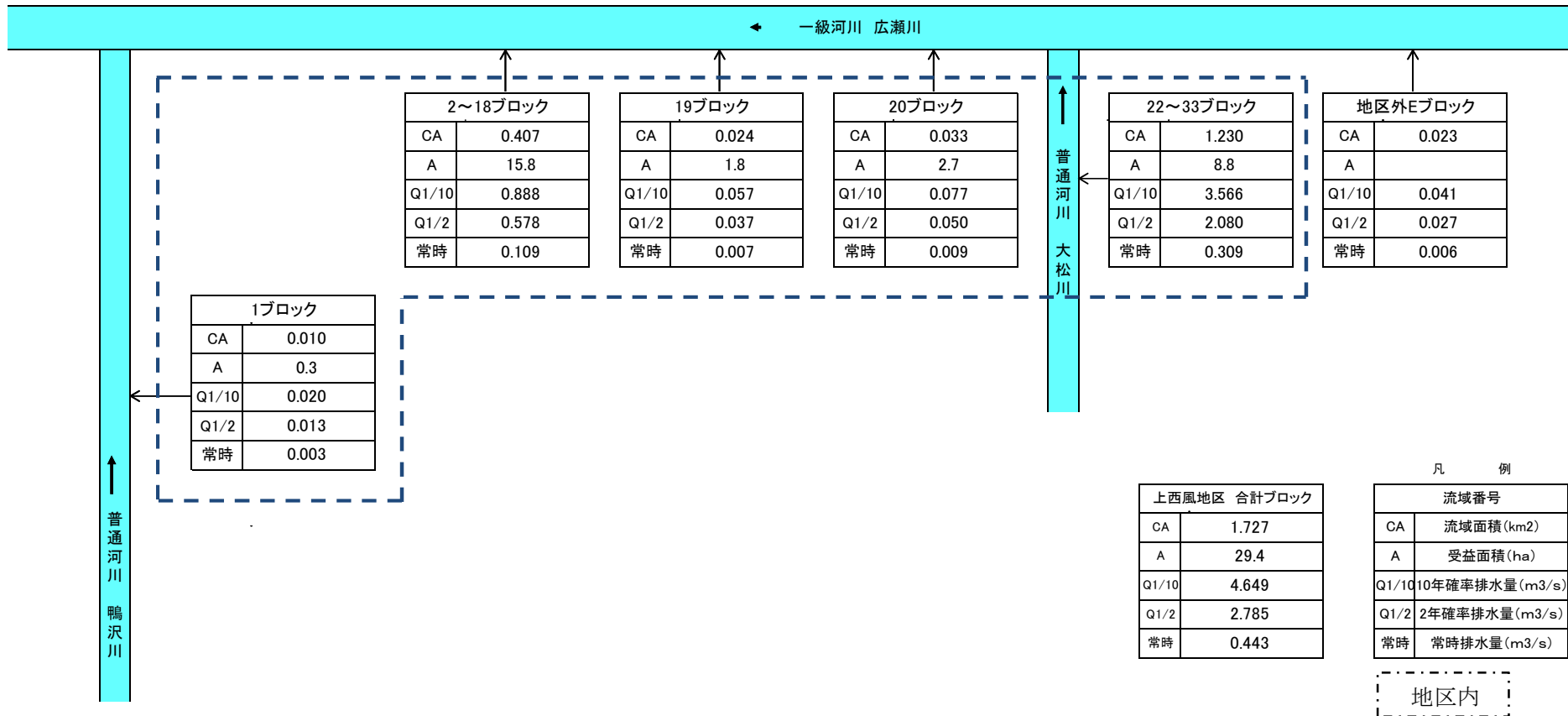
自然流下排水

3. 計画排水系統

次頁参照

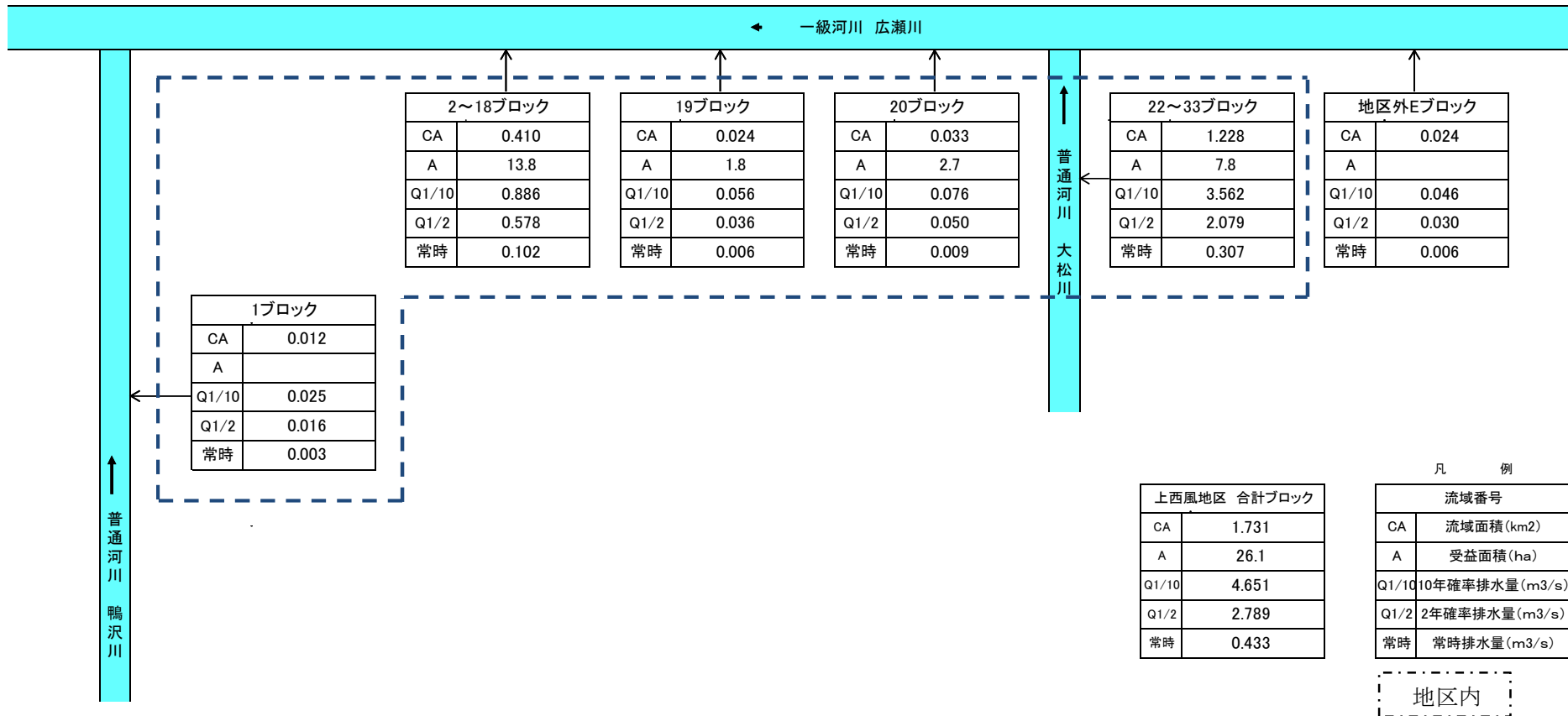
上西風地区 計画排水系統模式図

変更前



上西風地区 計画排水系統模式図

変更後



上段：変更後
下段：変更前

4. 計画排水量

(第11表-1)

排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考
	事 業 名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平 地		山地	平地	
	区画整理	地区外	計									自然排水	機械排水			
〃 一級河川 広瀬川	18.3 20.3	〃 -	18.3 20.3	〃 -	0.491 0.487	〃 68.9mm/4hr	1/10確率 1.435~ 3.110	1/10確率 1.435~ 3.110	〃 -	〃 0.250	〃 -	1.064 1.063	〃 -	1/10確率 1.435~ 3.110	1/10確率 1.435~ 3.110	
普通河川 鴨沢川	0.0 0.3	〃 -	0.0 0.3	〃 -	0.012 0.010	〃 68.9mm/4hr	1/10確率 1.435~ 3.110	1/10確率 1.435~ 3.110	〃 -	〃 0.250	〃 -	0.025 0.020	〃 -	1/10確率 1.435~ 3.110	1/10確率 1.435~ 3.110	
普通河川 大松川	7.8 8.8	〃 -	7.8 8.8	1.125 1.120	0.103 0.110	〃 68.9mm/4hr	1/10確率 2.465~ 5.341	1/10確率 1.435~ 3.110	〃 -	〃 0.250	3.315 3.306	0.247 0.260	〃 -	1/10確率 2.465~ 5.341	1/10確率 1.435~ 3.110	
計	26.1 29.4		26.1 29.4	1.125 1.120	0.606 0.607						3.315 3.306	1.336 1.343	〃 -			

5. 排水対策

上段：変更後
下段：変更前

(1) 排水水門

//
該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2) 排水機

//
該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん 水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							

(3) 排水路

上段：変更後
下段：変更前

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
小排水路	1.731	26.1		26.1	4.651	5,572	〃	〃	〃	〃	
	1.727	29.4		29.4	4.649	5,480	排水チューブ 300×300~800×800 大型チューブ1600×1000	広瀬川	—	—	
計	1.731	26.1		26.1	4.651	5,572					
	1.727	29.4		29.4	4.649	5,480					

(4) その他

〃
該当なし

6. 湛水検討

〃
該当なし

第5節 道路計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	幅(有効)×延長 (m) (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路(A)	5.0(4.0)×2,689 5.0(4.0)×3,163	敷砂利工 (t=0.10m)	市道取付あり	
支線道路(B)	4.0(3.0)×1,523 4.0(3.0)×2,737	敷砂利工 (t=0.10m)	市道取付あり	
支線道路(C)	3.0(2.5)×939 3.0(2.5)×530	敷砂利工 (t=0.10m)	市道取付あり	
計	5,151 6,430			

(2) 索道

//

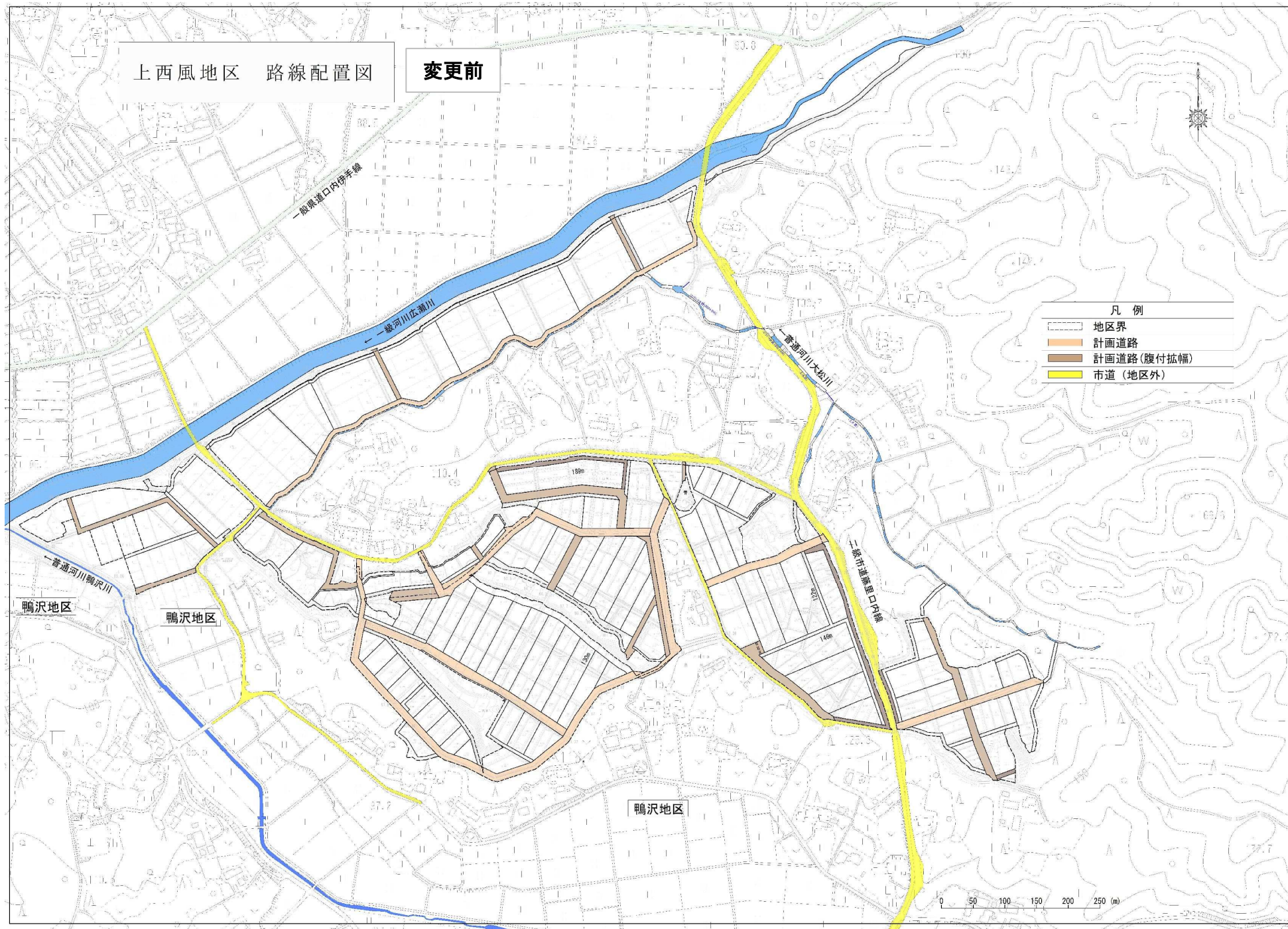
2. 路線配置図

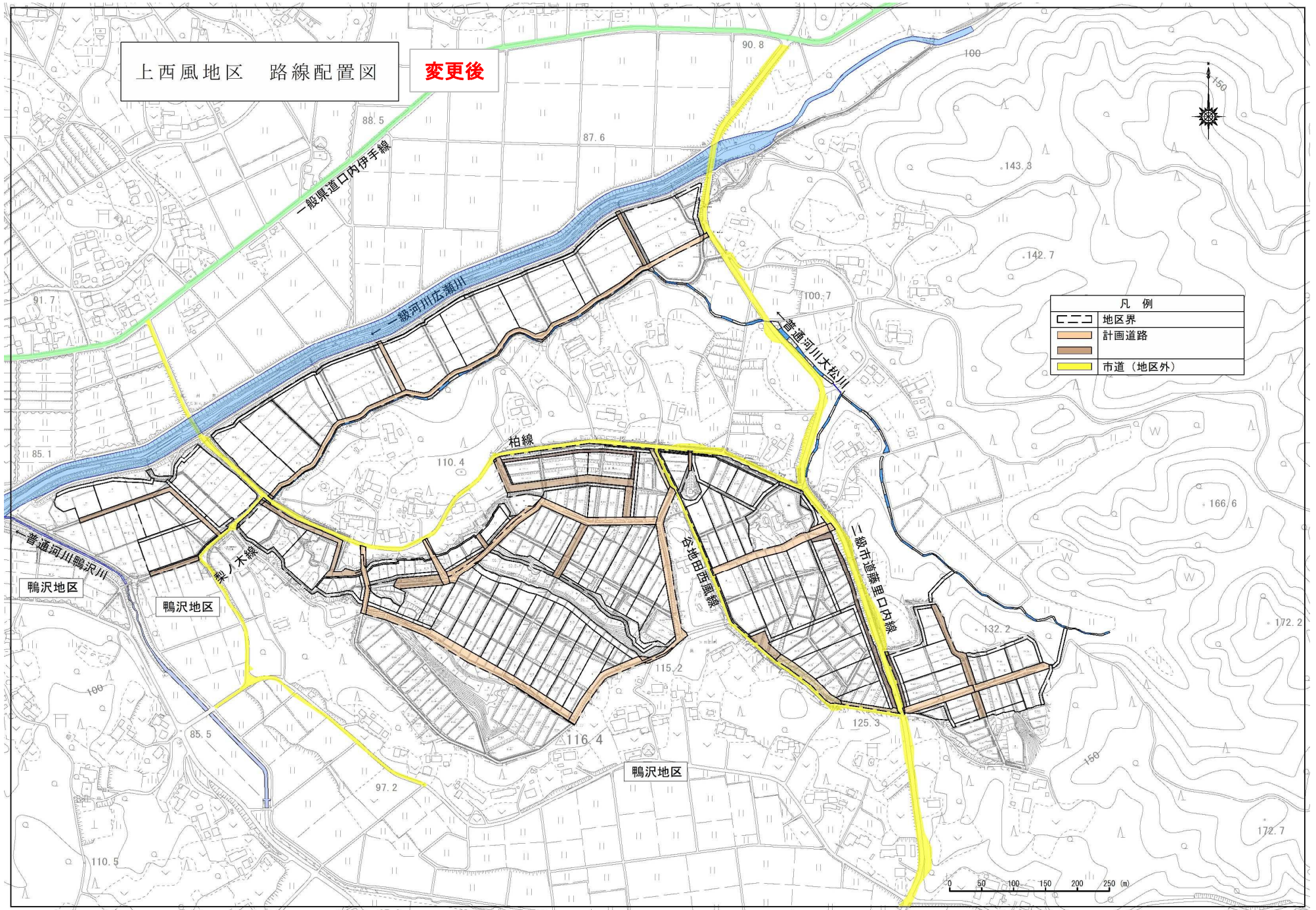
//

別紙のとおり

上西風地区 路線配置図

変更前





第6節 農用地造成計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 農用地造成計画
(1) 農地造成計画

//
該当なし

(第13表-1)

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考	
					備	考

- (2) 末端道排水路配置計画 該当なし

2. 土壌改良

//
該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統 (区)名	PH		置換酸度 (Y ₁)	りん酸吸 収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量 (t/ha)			備考
			H ₂ O	KG1			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

第7節 洪水調節計画

上段：変更後
下段：変更前

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

//
該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

//
該当なし

(第14表-2)

項目 貯水地名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

上段：変更後
下段：変更前

- (1) 河川改修計画との関係 // 該当なし
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 // 該当なし
- (3) 計画基準雨量以外についての検討 // 該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 // 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 // 該当なし
- (3) 洪水調節要領 // 該当なし

第8節 干拓計画

// 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (I P m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

上段：変更後

下段：変更前

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
〃	〃	6.2	24	〃	
100 × 80	0.8	1.3	4	0.3	
〃	〃	14.3	55	〃	
100 × 30	0.3	19.8	68	2.1	
〃	〃	5.6	21	〃	
その他	—	8.3	28	—	
〃	〃	〃	〃	〃	
畑	—	—	0	—	
計		26.1 29.4			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

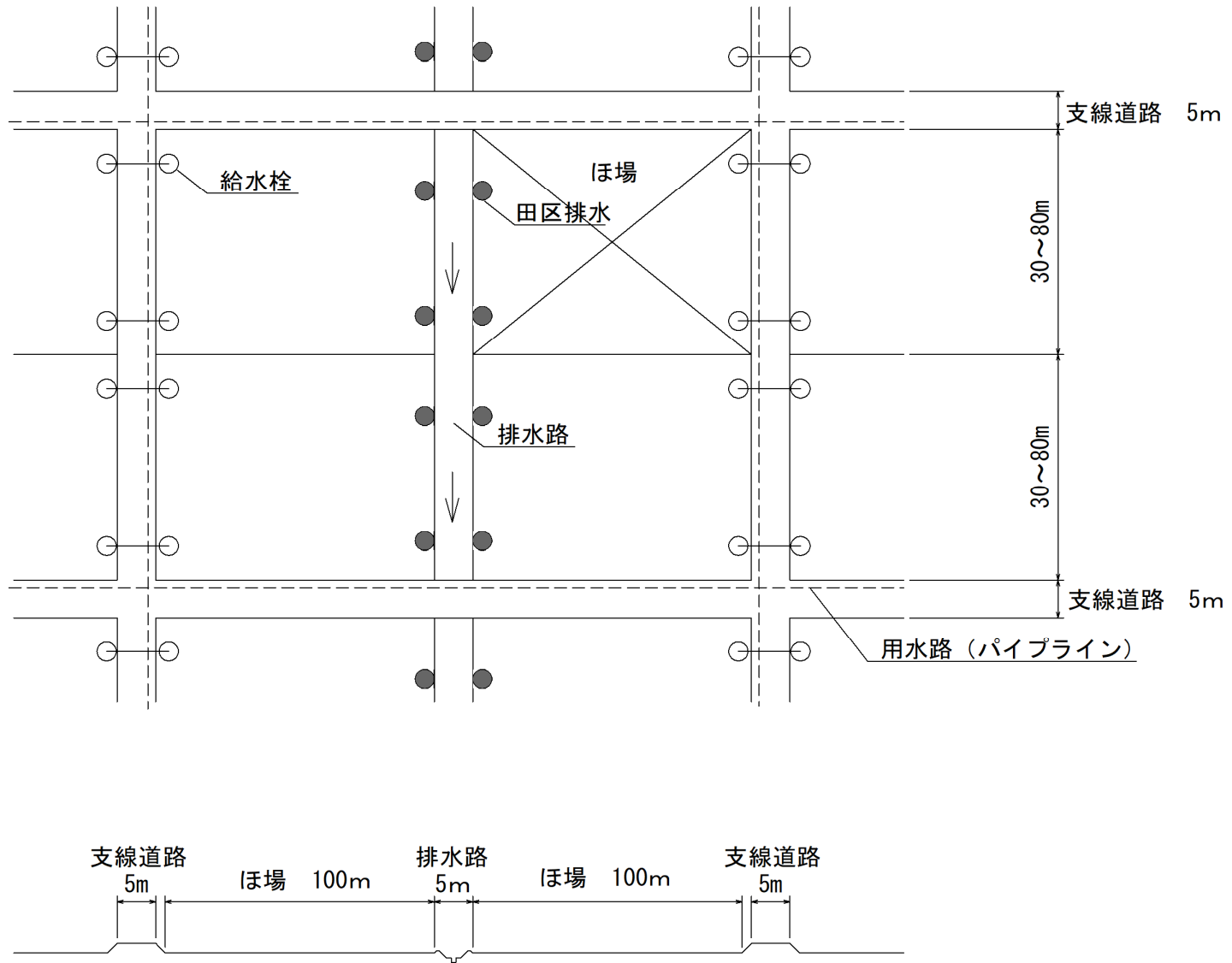
面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
26.1	〃	〃	39,150	〃
29.4	地力の保持	15	44,100	田15cm

(3) 末端道水路配置図

〃
別紙のとおり

末端道水路配置図

変更前後



上段：変更後
下段：変更前

2. 暗渠排水
(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
		事業名								
		区画整理		計						
	暗渠排水	3.5		3.5	灰色土壌粘土構造型	50	5.79	0.5	自然排水	F50
	暗渠排水	7.1		7.1	黄褐色土壌強粘土型	50	5.79	0.5	自然排水	I-81-2
	暗渠排水	15.5		15.5	礫層土壌粘土型	50	5.79	0.5	自然排水	J-91
	計	26.1		26.1						
		29.4		29.4						

(2) 心土破碎
該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度 (mm/日)	備考
		事業名					
	計						

3. 客土

上段：変更後
下段：変更前

//
該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当 たり 客 土 量 (m ³)	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材 料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

//
該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

//
該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	

(3) 侵食（崩壊）防止工

上段：変更後

下段：変更前

”
該当なし

(第16表-5-3)

区分 \ 項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

- 1. 洪水吐改修計画
 - ”
該当なし
 - (1) 計画基準雨量
 - ”
該当なし
 - (2) 計画洪水量
 - ”
該当なし
- 2. 堤体補強計画
 - ”
該当なし
- 3. 取水施設改修計画
 - ”
該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 貯水池

”
該当なし

(第 17 表-1)

名 称				位 置						備 考
	形 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 質 (千m ³)	基 盤 地 盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		
直 接		間 接	総貯水量					有効貯水量		
堤 体										
洪 水 吐	形 式	排 水 量 (m ³ /s)	備 考	取水施設	形 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m ³ /s)	

2. 頭首工

上段：変更後
下段：変更前

//
該当なし

(第17表-2)

名称	位置			取水位置 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
	堤高 (m)	堤長 (m)					
形式		固定部	可動部	計			

3. 揚水機

//
該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

上段：変更後
下段：変更前

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開渠	トンネル その他	計				
	区画整理	地区外	計								
〃	25.0	7.0	32.0	0.034		4,892	4,892	〃	〃		〃
末端用水路工	28.3	3.9	32.2	0.035		5,331	5,331	VU75~VU450	—		パイプライン
〃			〃	0.002	381		381	〃	〃		〃
末端用水路工	1.1		1.1	0.003	366		366	BF300	1/200~1/400		ベンチフリューム
計	26.1 29.4	7.0 3.9	33.1 33.3		381 366	4,892 5,331	5,273 5,697				

5. その他かんがい施設

〃
該当なし

(第17表-5)

項目 水路名	構 造	規 模	数 量	備 考

第2節 排水施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 排水水門

//
該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考
計							

2. 排水機

//
該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程		排水機			原動機		備考
			実揚程 (m)	全揚程 (m)	形式	口径 (m)	台数 (台)	形式	動力	
計										

3. 排水路

上段：変更後

下段：変更前

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開水路	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
排水路工	26.1		26.1	0.003~3.562	4.773	0.799	5.572	〃	〃	〃	
	29.4		29.4	0.004~3.566	4.738	0.742	5.480	排水フリューム300×300~800×800 大型フリューム1,600×1,000	1/200~ 1/1000	—	
計	26.1		26.1		4.773	0.799	5.572				
	29.4		29.4		4.738	0.742	5.480				

4. その他排水施設

〃

該当なし

第3節 道路及び索道

上段：変更後
下段：変更前

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
〃	〃	5.0 (4.0) × 2.689	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(A)	—	5.0(4.0)×3.163	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	4.0 (3.0) × 1.523	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(B)	—	4.0(3.0)×2.737	砂利道	—	—	—	—	—	—	
〃	〃	3.0 (2.5) × 0.939	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
支線道路(C)	—	3.0(2.5)×0.530	砂利道	—	—	—	—	—	—	
計		5.151 6.430								

(2) 道路主要構造物

〃
該当なし

2. 索 道

〃
該当なし

第4節 農用地造成

上段：変更後
下段：変更前

1. 農用地造成

//
該当なし

(1) 抜根

//
該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計						

(2) 除礫

//
該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去礫 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

(3) 開墾作業

上段：変更後
下段：変更前

”
該当なし

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分 地 目	造成方法			
計				

(4) 開墾作業

(第20表-4)

”
省略

(5) 開墾作業

(第20表-5)

”
省略

(6) 開墾作業

(第20表-6)

”
省略

2. 土壤改良

”
該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	面積 (ha)	備 考
	計					

第5節 洪水調節施設

上段：変更後
下段：変更前

1. 貯水池

//
該当なし

2. 頭首工及び導水路

//
該当なし

(1) 頭首工

//
該当なし

(第21表-2)

名称			位置			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)					
形式			固定部	可動部	計			

(2) 導水路

//
該当なし

(第21表-3)

水路	項目	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
			総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

//
該当なし

(第22表-1)

名称	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備考

2. 潮止め

//
該当なし

(第22表-2)

名称	項目	工法	幅見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設

//
該当なし

4. 埋立

//
該当なし

(第22表-3)

名称	項目	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備考

第7節 農用地整備施設

上段：変更後

下段：変更前

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	
上西風	6.2	〃	〃	6.2	9,300	t = 15cm
	1.3	100 × 80	—	1.3	1,950	
	14.3	〃	〃	14.3	21,450	
	19.8	100 × 30	—	19.8	29,700	
	5.6	〃	〃	5.6	8,400	
	8.3	—	—	8.3	12,450	
計	26.1			26.1	39,150	
	29.4			29.4	44,100	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

〃
該当なし

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

〃
該当なし

項目 区分	数量	規模	構造	備考
計				

上段：変更後

下段：変更前

2. 暗渠排水

(1)暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠				吸水渠				集水渠出口以下の排水施設			備考		
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称		構造	数量 (m/ha)
自動埋設型暗渠工	26.1 29.4	26.1 29.4	// レベル	// ポリ管	// φ50~65	// 36	// 水頭差	// ポリ管	// φ50~60	// 0.6	// 10.0	// 934	// 小排水路	// HF	// 161	
計	26.1 29.4	26.1 29.4														

(2)心土破碎

(第23表-4-2)

//
該当なし

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

//
該当なし

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計						
計								

4. 除礫

(第23表-6)

//
該当なし

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

4. 農地保全 〃
 該当なし

上段：変更後

下段：変更前

(1) 防災林 〃
 該当なし

(第23表-7)

区分 \ 項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路 〃
 該当なし

(第23表-8)

区分 \ 項目	延長 (m)	流量 (m)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工 〃
 該当なし

(第23表-9)

名称 \ 項目	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

上段：変更後

下段：変更前

1. 貯水池 // 該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	形式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
洪水吐	形式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	備考

2. 堤体補強施設 // 該当なし

(1) のり面保護施設 // 該当なし

(2) 漏水防止工 // 該当なし

上段：変更後

下段：変更前

第6章 付帯工事計画

//
該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	// 3	年度
完了	令和	9 8	年度

第8章 環境との調和への配慮

//
本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

第9章 換地計画の概要

上段：変更後

下段：変更前

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積^{34.3}38.0haの水田地域で、農地は10a～20a区画に整理されているが、今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に集落別地目別に集団化するように換地計画を樹立する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
上西風	岩手県奥州市江刺広瀬 地内	38.0
計		38.0

2. 換地区を設定する理由

営農形態のまとまりが形成されている区域を1つの換地区として設定する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

上段：変更後

下段：変更前

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
上 西 風	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

2. 用途別予定地積

上段：変更後
下段：変更前

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公有 地	総 合 計						
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第 1条の()書き			計	本事業によって生ず る土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地							合 計	国	県	市 町 村 他	合 計	
						土地 改良 施設	その 他	小 計		改 良 区	その 他	小 計			宅 地	その 他	計		農 業 経 営 理 化 施 設 用 地	生活 上 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地	宅 地 等	計								
																															計
上 西 風	従前の土地	26.9	0.2	0.7	〃	2.7	〃	2.7	30.5	〃	〃	〃	〃	30.5	〃	〃	〃	〃	/	/	/	/	/	〃	〃	〃	3.8	3.8	〃	34.3	
		29.7	0.4	0.8	0.0	3.0	-	3.0	33.9	-	-	-	-	33.9	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	0.0	4.1	4.1	-	38.0	
	換地	26.1	〃	〃	〃	〃	〃	〃	26.1	0.3	〃	0.3	〃	26.4	〃	〃	〃	〃	/	/	/	/	/	〃	〃	〃	7.9	7.9	〃	34.3	
		29.4	-	-	-	-	-	-	29.4	0.0	-	-	-	29.4	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	0.0	8.6	8.6	-	38.0	
	従前の土地																		/	/	/	/	/								
	換地																			/	/	/	/	/							
	従前の土地																			/	/	/	/	/							
	換地																			/	/	/	/	/							
	従前の土地																			/	/	/	/	/							
	換地																			/	/	/	/	/							
合 計	従前の土地	26.9	0.2	0.7	〃	2.7	〃	2.7	30.5	〃	〃	〃	〃	30.5	〃	〃	〃	〃	/	/	/	/	/	〃	〃	〃	3.8	3.8	〃	34.3	
		29.7	0.4	0.8	0.0	3.0	-	3.0	33.9	-	-	-	-	33.9	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	0.0	4.1	4.1	-	38.0	
	換地	26.1	〃	〃	〃	〃	〃	〃	26.1	0.3	〃	0.3	〃	26.4	〃	〃	〃	〃	/	/	/	/	/	〃	〃	〃	7.9	7.9	〃	34.3	
		29.4	-	-	-	-	-	-	29.4	0.0	-	-	-	29.4	-	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	0.0	8.6	8.6	-	38.0	

3. 農用地集団化の方針

上段：変更後

下段：変更前

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
〃 上西風	〃 営農グループ別集団化	〃 予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農用地集積が図れるように配慮する。	〃 1～3団地	〃 移動畦畔

4. 非農用地換地の方法

〃
該当なし

(第25表-5)

区分 地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積(m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

上段：変更後

下段：変更前

1. 評価の方法

〃

項目別配点方式

〃

従前の土地と換地をそれぞれ個別に、かつ、1筆毎に各評価項目について採点し、項目別に得られた採点結果を積み上げてその土地の点数とし、点数に対応する等位をつける。

2. 清算の方法

〃

比例地積清算方式

〃

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考
〃 上西風地区	令和7～8年度 令和5～7年度	令和9年度 令和8年度	令和9年度 令和8年度	確定測量 令和8年度 確定測量 令和7年度

第6節 換地処分の時期に関する特則

〃

換地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法題54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

上段：変更後

下段：変更前

単位：千円

事業区分	事業費	資金計画				
		国費	県費	市町村費	受益者負担	
〃 区画整理	純工事費	876,000	481,800 〃	262,800 〃	87,600 〃	43,800 〃
		747,000	410,850 (55%)	224,100 (30%)	74,700 (10%)	37,350 (5%)
	測量試験費	101,000	55,550 〃	30,300 〃	10,100 〃	5,050 〃
		104,000	57,200 (55%)	31,200 (30%)	10,400 (10%)	5,200 (5%)
	用地買収補償	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
		22,000	12,100 (55%)	6,600 (30%)	2,200 (10%)	1,100 (5%)
	換地費	47,000	25,850 〃	14,100 〃	4,700 〃	2,350 〃
		46,000	25,300 (55%)	13,800 (30%)	4,600 (10%)	2,300 (5%)
	工事雑費					
	計	1,046,000	575,300	313,800	104,600	52,300
		919,000	505,450	275,700	91,900	45,950
	事務費					
	総事業費	1,046,000	575,300	313,800	104,600	52,300
		919,000	505,450	275,700	91,900	45,950

第11章 効 用

単位：千円

事業区分	区分	項目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
〃 区画整理		作物生産効果	9,463	3,889	
			10,547	4,338	
		営農経費節減効果	57,278	61,026	
			55,397	59,055	
		維持管理費節減効果	△ 1,086	177	
			△ 487	702	
		耕作放棄防止効果	〃		
			0		
		国産農作物安定供給効果	2,388		
			1,929		
	計		68,043	65,092	〃
			67,386	64,095	総費用総便益比
					1.07
					1.23

第12章 関連する事業

上段：変更後
下段：変更前
(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
// 異種	// 国営猿ヶ石用水 農業水利事業	// 国	// 3,920	// 基幹用水路 51.5km
	// 県営新農業水利システム 保全整備事業 松長嶺地区	// 岩手県	// 237	// 基幹用水路 10.8km

第13章 現況・計画図面

上段：変更後
下段：変更前

1. 位置図

//
別途添付

2. 現況計画平面図

//
別途添付

3. 土地利用計画図

//
別途添付

4. 主要構造図

//
別途添付